

CENTENARY

2009. 9. 25
第 34 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

夏休み文化部特集

美術部

第33回全国高等学校
総合文化祭
美術部 岸野 照葉

美術工芸部門出展

7月29日・30日に三重県津市で行われた全国高校総文に出場しました。大会では、三重県立美術館に全国から選出された優秀作品が一同に集まった展覧会や交流会が行われました。

岸野照葉さんは、『同年代のレベルの高い作品を鑑賞したり、交流会では意見を出し合ったり、批評したりして、その中で多くのことを学ぶことができました。自分自身にとって大変刺激になり、有益なことであったと同時に、今後に向けて活かしていきたいと思っています。これまで、私を支えて応援してくださった方々に改めて感謝したい気持ちでいっぱいです。』とのことでした。

美術部員<会場前で> 09.07



これからも素晴らしい作品を期待しています。

書道部

第33回全国高等学校
総合文化祭
書道部 花房 玲香

書道部門 出展

全国高校総文に出場した花房玲香さんは、7月31日の交流会で、「きらきら」といつまでも輝いていたい」という言葉を揮毫しました。

各県代表の作品中、隸書で最も多かった「曹全

書道部(顧問の山口先生と)



書道展(主催読売新聞社日本書芸院)

優秀賞 3年花房玲香

準優秀賞 3年北谷美華

大学生と同じ土俵で審査される展覧会ですが、見事に入賞を果たしました。

花房玲香と作品



碑」の臨書の中から選ばれた花房さんの作品は翌日の講評会では大型スクリーンを通して紹介され、「隸書の正統的かつ基本に則った作品」と高い評価を得ました。

全国レベルの実績を維持していくということは、大変なことだと思います。それは、運動部同様に過酷な練習や鍛錬の賜物ではないでしょうか。

美術部、そして書道部に敬服するとともに、今後の活躍にも期待しています。

|| その他文化部の活躍 ||

【合唱部】

第76回NHK全国学校教育コンクール兵庫県大会出場

奨励賞受賞

平成21年度兵庫県合唱コンクール高校の部出場

銅賞

【予定】

・第33回高校総文の開会行事に代表出演(10月31日)

・合唱部門演奏会に出演(11月21日)

・ジョイントコンサート(3月30日)明石市立西部市民会館)

【演劇部】

夏季合同公演を8月9日、東播磨高と県農業高と合同で行いました。

ちょっと一言 外国のある有名な歌手が各国の言葉を比較して、イタリア語は「歌に向く言葉」、フランス語は「愛を語る言葉」、ドイツ語は「詩を作る言葉」、そして日本語を「人を敬う言葉」だと言われた。言葉は、人を生き生きともさせるし、悲しませたり、怒らせたり、ときには大きな傷を心に与えることもある。外国の方から「人を敬う言葉だ」と評される言葉を我々は使っている。その素晴らしい言葉を使っているのだという誇りと自覚をもって、生きたいものです。<出典:09.8.19 読売新聞編集手帳>